

温泉の利用状況について

泉 質： ナトリウム・マグネシウム-硫酸塩温泉
(低張性 中性 高温泉)

温泉成分の特徴： 旧泉質名を芒硝性苦味泉と言ひ、ほのかな苦味があります。また、炭酸水素イオンが浴後爽快な感じを与えます。
(分析場所：源泉)

源泉の温度及び湧出量： 57.8℃ 295リットル/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり(直近成分分析年月日：H28.10.14)

浴槽の種類とその状況： 内湯、露天風呂(全て温泉水を使用)

循環、かけ流しの状況： かけ流し式
(浴槽に常に新しい温泉を注入してあふれさせています。)

加水の状況： 源泉温度が高いため、井戸水を加水しています。

加温の状況： なし

新湯との入れ替わり状況： 各室、浴槽の大きさは、多少異なりますが、おおよそ30分～40分程度で入れ替わります。

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 毎日、完全にお湯を抜いて清掃を行っています。

浴槽水の消毒状況： 塩素系薬剤を投入するとともに、浴槽内の残留塩素濃度を確認することにより、常時、衛生的な状態を維持しています。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌を含む水質検査を年に1回実施しています。
※水質検査証は別に表示

平成28年10月14日

施設名 阿蘇乙姫温泉 湯ら癒ら

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会